

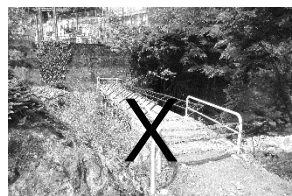
大多摩ウォーキングトレイル

全長約8.5km

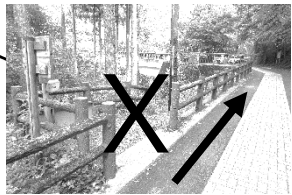
歩行約3.5時間

●裏に続きがあります。●この面は【氷川～白丸】で、全体の約半分です。

奥多摩ビジターセンター - (約3.0km) - 白丸 - (約2.0km) - 鳩ノ巣 - (約3.5km) - 古里

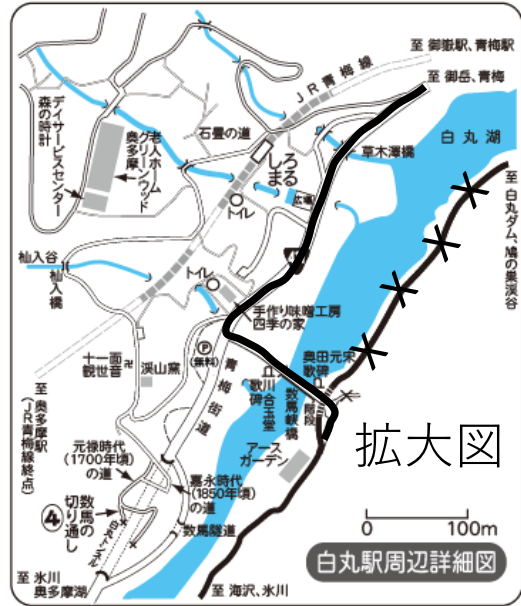


2020年5月現在この橋が通行止めのため、つきどめ橋を経由した迂回が必要



白丸湖沿いの道が通行止めのため、直進し数馬峡橋を渡る迂回が必要

歴史・文化財



— 奥多摩を愛した文化人たち —

川合玉堂 (1873~1957、愛知県生)
日本画家。山村・自然を詩情豊かに描いた。歌集もある。昭和15年文化勲章受章。昭和19年、以前より訪れていた奥多摩の地に疎開し、亡くなるまでの14年間を過ごした。JR御嶽駅から徒歩5分、吉野街道沿いの玉堂美術館では、数々の素晴らしい作品が展示されている。

奥田元宋 (1912~2003、広島県生)
日本画家。現代山岳風景画に新境地を開拓した。昭和54年『奥多摩雨趣』等、奥多摩に関した作品もある。昭和59年文化勲章受章。広島県三次市の奥田元宋・小由女美術館で、元宋と妻、小由女(人形作家)の作品を鑑賞できる。

- ① 奥氷川(おくひかわ)神社**
武蔵三氷川社の一つ。奥社、祭神は速須佐之男命(はやすさのおのみこと)と榊稲田姫命(くしなだひめのみこと)。境内の三本杉は樹齢約650年(鎌倉時代)。高さ約50m、高さ3mのところで3本に分かれる。都内最高の杉で、東京都指定文化財。
- ② 愛宕(あたご)神社**
火防の守神で、見守ってもらえるよう集落が一望できる所に祀られている。祭神は火産霊神(ホムスビノカミ)ほか三神。
- ③ 山祇(さんぎ)神社**
山の守護神「麓山祇尊」(ふもとやまつのみこと)が祭神。背後の愛宕山など神山に対する神庭に祭られたとの事。神楽殿(農村舞台)を持ち、毎年八月第一土曜の例祭に神楽舞が奉納され賑わう。注連木(しめき)になっているイチヨウは、目通り4.95m、高さ36mで、町で最大。
- ④ 数馬の切通し**
元禄16年(1703年)に氷川・朽久保両村民の資力、労力で完成。これにより小河内方面・多摩川南岸と五日市方面、日原・大丹波と秩父方面の交通が密接になった。昭和52年11月3日、奥多摩町指定史跡となった。

大多摩ウォーキングトレイル

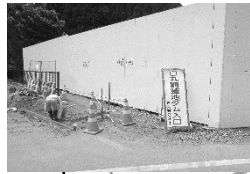
全長約8.5km

歩行約3.5時間

●裏に続きがあります。●この面は【白丸～古里】で、全体の約半分です。

奥多摩ビジターセンター - (約3.0km) - 白丸 - (約2.0km) - 鳩ノ巣 - (約3.5km) - 古里

2020年5月現在工事中でダムへの道が変更されている



白丸

(裏面に続く)



古里

0 250m 500m



歴史・文化財

⑨ 土場(どば)

江戸の頃、奥多摩の良材を多摩川を利用して江戸の町に送るためにいかだを汲んだ場所。今も寸庭橋から眺めると、いかだ師の飯場で賑わった当時の様子が想像できる。

⑩ 小丹波(こたば)の熊野神社

奥多摩町に多く祀られているのが山祇(やまつみ)神社と熊野神社。熊野神は穀霊の神で伊邪美命(いざなみのみこと、女神)とその子、速玉之男神、事解男命(ことわけのおのみこと)の三神が祭神。平安前期(853年)に、熊野三社権現のお告げにより小社を造営したのが始まりという。社殿の側に女体を連想させる自然石(伊邪那美命のご神体では)が塩がま神社として祀られ、安産の神として信仰されている。境内には都文化財指定の舞台(神楽殿)がある。

⑥ 双竜の滝

元の名を妹背(いもせ)の滝という。同じ年生まれの兄弟が姉妹かはともかく、浮世の定め(滝口にあるとがり岩)により二分された流れが浸食された岩の溝で、また一緒になり落ちてい姿をさかない縁(えに)しの様に見立てたもの。

⑦ 玉川水神社

大和国(やまのくに)丹生川上(にふのかわかみ)神社の中社の祭神で、水神のみずはの女神(めのかみ)を川の守護神として祀っている。鳩の巣のつかいの霊鳩にあやかり、縁結びの信仰もあるとか。

⑧ 将門(まさかど)神社

平安中期(910～920年頃)に蝦夷(えぞ)征討に向かった武蔵守藤原利仁が、陣中衛護の神として八千戈命(やちほこのみこと、大國主命の別名)を祀った多名沢神社が始まり。明治41年、熊野神社に合祀されたが、昭和50年、地域住民の信仰から将門神社として再建された。

『鳩ノ巣』の由来

慶長6年11月(江戸初期)江戸全域消失の大火から始まり、明暦の大火(振袖火事)等、江戸263年間だけでも99回の大火が記録されている。鳩の巣は、上流から一本流して送られてくる江戸市中の復興材の流送の大貯木場で、下流の筏を組む土場とともに飯場小屋が建てられた。たまたま、魚留潭(なるたき)上の飯場に祭った女神社に2羽の鳩が仲睦まじく巣を営んだ有様が、働く人々の心を和ませ、いつしか鳩の巣飯場と呼ぶようになり、道行く人々の目標にもされ、これが地名になった。魚留潭は1859年(江戸末期)の大洪水で崩壊し、今はない。

○ 散策時のお願い

- ・ゴミは絶対に捨てず全て持ち帰ってください。
- ・動植物は採取しないでください。
- ・トイレなど公共施設はきれいに使いましょう。
- ・集落を通るルートでは近隣住民の方に迷惑をかけないよう気をつけましょう。

東京都 奥多摩ビジターセンター

開館時間：9:00～16:30
 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
 住所：〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川171-1
 電話：0428-83-2037
 URL：<https://www.ces-net.jp/okutamavc/>

指定管理者：(株)自然教育研究センター(略称：CES)

2020年6月1日発行